

太陽光発電システム自立運転切替操作について

太陽光発電は通常、連系運転モードとなっております。

※連携モードとは電力会社とつながっていて電気を「売る、買う」ができる状態。

ですが停電時に電気を使用する場合はこの「モード」を「**自立運転モード**」にする必要があります。

停電時、自立運転（太陽光発電の電気を電源に使う）に切り替える場合、一部のパワーコンディショナーは

「**手動**」で操作をしないと切り替わりません。

（メーカー、製造年月日などで様々）

※ハイブリットタイプは自動で切り替わります。

（カタログ、取扱説明書等で確認してみてください。）

自立運転モードに切り替えてみる

(メーカーによっても異なりますがおおむね下記のようになります。詳しくは取扱説明書でご確認をお願い致します。)

手順

①太陽光ブレーカーの位置を確認する。

→屋内の壁面、野外のパワーコンディショナーに設置されている可能性があります。

②運転スイッチをOFFにする

③太陽光ブレーカーOFFにする

④運転スイッチをONにする

翌日も停電だった場合

翌日も引き続き停電だった場合は、あらためて対処の必要があります

①**再度手動**で運転スイッチをONにする（晴れている場合）

※自立運転モードの場合、日が沈むと「**自動的に停止**」します。
ですが「**自動で運転**」を開始することはありません。

電気が復旧したら

停電が復旧したら運転モードを「**連系モード**」に戻さなければなりません
手順としては自立運転モードの逆になります

- ①運転スイッチをOFFにする
- ②太陽光ブレーカーの電源をONにする
- ③再度運転スイッチをONにする

しばらくすると（最大300秒）切り替わります。

（おおむねモニターにて確認することができます。）